

福岡市の留守  
家庭子ども会

# なぜ福岡市は、国の予算を 使って支援員の 処遇を改善 しないのか？



↓質問動画



2022年2月16日の福岡市議会で、  
日本共産党市議団は留守家庭子ども会  
支援員などの処遇改善を求めました。

## 月9000円上がる 予算なぜ使わない？

福岡市の学童保育の支援員  
は、非正規の公務員（会計年度  
任用職員）で、その多くは年収  
200万円以下と非常に低いま  
までです。

国は、予算をつけて学童保育  
の支援員の賃金を月額約9000  
円引き上げる「放課後児童支援  
員等処遇改善臨時特例事業」を  
行っています。

ところが福岡市は“学童の職  
員の賃金は人事院勧告で決める  
ものだ”などの理由で**活用を拒  
否**しています。



1月25日にも教育長に  
処遇改善を申し入れま  
した

日本共産党

## 国の担当者にも 聞き取りして質問

日本共産党は、国の事業担当  
者に独自に聞き取りを行い、「コ  
ロナ対応の最前線で働く支援員  
に広く賃上げをしてほしいとい  
う趣旨で事業をつくったのでぜ  
ひ活用してほしい」と述べてい  
ることを紹介しました。

## 驚くべき答弁が…

## ウラ面につづく

# 共産党が議会で追及

「支援員の賃金は  
適正な水準だ」  
（教育長）



## ケア労働をさげすむ ジェンダーの意識が

（オモテ面続き）その上で、あくまで活用を拒否する市の姿勢の根底には「ケア労働は女性でもできるものだ」支援員の仕事を「下」にみる性的な差別意識（ジェンダー）があると批判。国の事業を

活用して賃上げを行うよう迫りました。

教育長は、賃金は「適正な水準」だなどくり返し答弁し、活用をかたくなに拒否しました。

また、保育士の賃金の抜本的な引き上げも求めましたが、高島市長は応じませんでした。



## 補助員の報酬アップは 答弁を引き出しました！ 共産党の質問に教委が答弁

翌日の2月17日の教育子ども委員会で共産党がさらに処遇改善についてただすと、教育委員会は留守家庭子ども会の補助員の報酬について

は、時給950円から1020円に引き上げることが表明しました。まだ不十分ですが引き続き処遇改善に取り組みます。

お困りごとや相談を気軽にお寄せください  
電話092-711-4734 メールinfo@jcp-fukuoka.jp

日本共産党